ソフトウェア開発におけるチーム文化の構築【オンラインライブ】（4123223）

ソフトウェア開発におけるチーム文化の構築～チームのエラー防止、手戻り削減、問題感知力、創造的解決力等の強化施策。本セミナーではチーム文化（行動原理、思考）を、行動様式、行動の質および結果の質に紐付けて広く捉え、ソフトウェア開発における五つの課題（チームとしてのエラー防止、ステークホルダ間での齟齬の改善、推論力を働かせた課題の解決、プロジェクトリスク発現のコントロール、変化に対応するリーダーシップ）に対応するチーム文化のチーム・コンピテンシー成熟度を定義し解説します。

開催日時	2023年10月13日（木） 9:00-16:00ライブ配信
カテゴリー	業務遂行スキル 品質マネジ
講師	太田浩雄 氏 （元 株式会社ジャステック 顧問 ） 1975年4月株式会社ジャステックに入社、1987年取締役開発部門責任者、2003年に日本で初めての会社を対象とした組織能力成熟度モデル統合 "CMMI" の最高成熟度レベルである レベル5を達成、2004年常務取締役営業部門責任者、さらに顧問を経て2022年12月に退任し、現在はフリーの立場で活動中。この間、一般社団法人日本情報システムユーザー協会（JUAS）、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)での各部会の部会長や講師を歴任、さらにアドバンス・ビジネス創造協会、東京電機大学大学院・総合技術特別講義の講師を歴任、直近の主な編著書に「ソフトウェア開発の見える化を更に進めた第6版」オーム社、「CMMIモデルによるチーム・コンピテンシーの向上」がある。
参加費	ＪＵＡＳ会員(ITC：33,000円 一般：43,890円（１名様あたり 消費税込み、テキスト込み）【受講後料税額1税】
会場	オンライン配信（指定会場はありません）
対象	情報システム部門、ITグループ会社の管理者、リーダー、プロジェクトマネージャー 中級
開催形式	講座
定員	25名
取得ポイント	ITC保険力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
ITN継続時間	6

主な内容

■受講形態
ライブ配信（Zoomミーティング）【セミナーのオンライン受講について 】
■テキスト
開催７日前を目途に発送（お申込時に送付先の入力をお願いします）
※開催７日前から開催前日までにお申込の場合、テキストの送付は開催後になることがあります。ご了承ください。
■開催日までの課題事項
特になし

ソフトウェア開発におけるチーム文化の構築～チームのエラー防止、手戻り削減、問題感知力、創造的解決力等の強化施策。
本セミナーではチーム文化（行動原理、思考）を、行動様式、行動の質および結果の質に紐付けて広く捉え、ソフトウェア開発における五つの課題（チームとしてのエラー防止、ステークホルダ間での齟齬の改善、推論力を働かせた課題の解決、プロジェクトリスク発現のコントロール、変化に対応するリーダーシップ）に対応するチーム文化のチーム・コンピテンシー成熟度を定義し解説します。

主な内容
1 チーム・コンピテンシー成熟度とは

2　チームとしてのエラー防止
2.1 定量的品質管理を推進するチーム文化のチーム・コンピテンシー成熟度
2.2 周囲への状況の希薄化と錯誤などの防止
2.3 異常値管理による取り違い・失念・違反の防止

3　ステークホルダ間での齟齬の改善
3.1 プロセス品質を統制するチーム文化のチーム・コンピテンシー成熟度
3.2 コミュニケーション・プロセスマネジメントの実践
3.3 議論の構造化による齟齬の改善とコンフリクトをプラス思考でマネジメント

4　マーケティング技法を応用した”S+SPIN話法“による潜在ニーズの顕在化と問題解決

5　推論力を働かせた課題の解決
5.1 推論力を養うチーム文化のチーム・コンピテンシー成熟度
5.2 推論力を高め働かせる思考法を有する人材育成と要員配置

6　プロジェクトリスク発現のコントロール
6.1 リスクマインドなどを高めるチーム文化のチーム・コンピテンシー成熟度
6.2 リスク管理戦略に基づくプロジェクトリスクマネジメントの実践

7　変化に対応するリーダーシップ
7.1 EQリーダーシップを養うチーム文化のチーム・コンピテンシー成熟度
7.2 状況適合性などから考察したリーダー
7.3 状況に合わせたリーダーシップの発揮